

第2学年 国語科学習計画（シラバス）

【第2学年 国語科の目標】

(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり、理解したりすることができる。

(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。

(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① じゅんばんにならぼう ② ふきのとう ③ 図書館たんけん ④ 日記を書こう ⑤ ともだちはどこかな ⑥ たんぽぽのちえ ⑦ かんさつ名人になろう ⑧ いなばのしろうさぎ ⑨ 同じぶぶんをもつかん字 ⑩ スイミー ⑪ かんじのひろば ⑫ メモをとるとき ⑬ こんなもの、見付けたよ ⑭ あったらしいなこんなもの ⑮ お気に入りの本をしょうかいしよう ミリーのすてきなぼうし	① 自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞く。 ② 場のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ③ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ④ 経験したことから書くことを見付け伝えたいことを明確にする。 ⑤ アクセントによる語の意味の違いなどに気付き、自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞く。 ⑥ 順序などの情報と情報との関係について理解し、時間的な順序を考えながら、内容の大体を捉える。 ⑦ 経験したことから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりする。 ⑧ 神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ⑨ 第2学年までに配当されている漢字を読み書きし、文や文章の中で使う。 ⑩ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ⑪ 第1学年に配当されている漢字を書き、文や文章の中で使う。 ⑫ 必要な事柄を集めたり確かめたりする。 ⑬ 句読点の打ち方、かぎの使い方を理解して文や文章の中で使う。 ⑭ 丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて使う。話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ⑮ 読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。
2 学期	⑯ 雨のうた ⑰ ことばでみちあんない ⑱ どうぶつ園のじゅうい ⑲ かたかなのひろば ⑳ ことばあそびをしよう ㉑ お手紙 ㉒ 主語と述語に気をつけよう ㉓ そうだんにのってください ㉔ おもちの作り方をせつめいしよう ㉕ 世界一の話 ㉖ みきのたからもの ㉗ お話のさくしゃになろう ㉘ 詩の楽しみ方を見付けよう ㉙ にたいみのことば、はんたいのいみのことば ㉚ ロボット ㉛ すてきなところをつたえよう ㉜ スーホの白い馬	⑯ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ⑰ 相手に伝わるように、話す事柄の順序を考える。 ⑱ 文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつ。 ⑲ 片仮名を書くとともに、文の中で使う。 ⑳ 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付く。 ㉑ 語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ㉒ 文の中における主語と述語との関係に気付く。 ㉓ 互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ。 ㉔ 共通、相違、事柄の順序などの情報と情報との関係について理解する。 ㉕ 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ㉖ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ㉗ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ㉘ 詩を読んで感じたことを共有する。 ㉙ 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付く。 ㉚ 大事な言葉に気を付けて読み、分かったことを知らせる。 ㉛ 文章を読み返す習慣を付けるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ㉜ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。

身に付けさせたい力

評価の観点	国語科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・語彙を豊かにし、言葉のまとまりに注意して話の中や文章の中で使うことができる。 ・丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて、思ったことや伝えたいことを書ける。 ・共通、相違、順序など情報の関係に気を付けて読むことができる。 ・昔話や神話・伝承などの伝統的な話を聞くなど、いろいろな読書に親しむことができる。	・ワークテスト ・学習カード ・ノート
思考・判断・表現	・行動したことや経験したことに基ついて、相手に伝わるように話す事柄の順序を考えている。 ・互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつないでいる。 ・語と語、文と文との続き方に注意しながら、まとまりが分かるように文章を書いている。 ・場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像して読んでいる。	・ワークシート ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	・事柄の順序を考えて、相手に伝わるようにすすんで話している。 ・学習の課題に沿って、積極的に尋ねたり、応答したりしている。 ・事柄の順序に沿って、簡単な構成を考えて文章を書いている。 ・すすんで重要な語や文を選び出して、文章を読んでいる。	・観察 ・ワークシート

家庭へのおお願い

○子供が話す話を、たくさん聞いてください。

○自分の伝えたいことを最後まで言えるように聞いてください。

○日頃から丁寧な言葉遣いを意識させるようにしてください。相手の目を見て話をするなど、会話をする上での基本的なことを大切にしてください。

第2学年 算数科学習計画（シラバス）

【第2学年 算数科の目標】

- （１）数の概念や計算の意味について理解を深め、量や図形について感覚を豊かにすることができる。たし算・ひき算・かけ算の計算をすることができる。身の回りにある長さやかさを測定できる。
- （２）数の表し方、計算の仕方、平面図形の形の構成について考えようとしている。身の回りの事象をデータの特徴に着目して捉えて考えようとしている。
- （３）数を用いて考えることのよさに気づき、生活に生かそうとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① グラフとひょう	① 身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりする。
	② たし算のひっ算	② 2位数のたし算の計算が確実にできる。それらの筆算の仕方について理解する。
	③ ひき算のひっ算	③ 2位数のひき算の計算が確実にできる。それらの筆算の仕方について理解する。
	④ 長さのたんい	④ 長さの単位「ミリメートル」「センチメートル」について知り、測定の意味を理解する。
	⑤ 3けたの数	⑤ 3位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方について理解する。
	⑥ 水のかさのたんい	⑥ かさの単位「ミリリットル」「デシリットル」「リットル」について知り、測定の意味を理解する。
	⑦ 時こくと時間	⑦ 「日」「時」「分」について知り、それらの関係を理解する。
	⑧ 計算のくふう	⑧ たし算、及びひき算に関して成り立つ性質について理解する。
	⑨ たし算とひき算のひっ算	⑨ 3位数のたし算及びひき算の計算の仕方を知る。
	⑩ 長方形と正方形	⑩ 三角形、四角形、正方形、長方形、直角三角形について知る。
2 学期	⑪ かけ算（１）	⑪ 5の段までのかけ算九九について知り、1位数と1位数のかけ算の計算が確実にできる。
	⑫ かけ算（２）	⑫ 9の段までのかけ算九九について知り、1位数と1位数のかけ算の計算が確実にできる。
	⑬ 4けたの数	⑬ 4位数までについて、十進位取り記数法による数の表し方について理解する。
	⑭ 長いものの長さのたんい	⑭ 長さの単位「メートル」について知り、測定の意味を理解する。
	⑮ たし算とひき算	⑮ 計算の場面を、線分図などの図を使って考える。
	⑯ 分数	⑯ 2分の1や3分の1など簡単な分数について知る。
	⑰ はこの形	⑰ 正方形や長方形の面で構成される箱の形について理解し、分解したり再構成したりする。

身に付けさせたい力

評価の観点	算数科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・数の概念や計算の意味について理解を深めることができる。 ・加法及び減法、乗法の計算をすることができる。 ・長さやかさを測定し、表やグラフに表すことができる。	・観察 ・ワークテスト
思考・判断・表現	・数の数え方や計算の仕方を考えようとしている。 ・平面図形がどのような要素で構成されているか考えようとしている。 ・身の回りの量の大きさを、単位を用いて表現している。 ・データに注目して、身の回りの事象を簡潔に表現したり考察したりしている。	・観察 ・発言 ・ノート ・ワークテスト
主体的に学習に取り組む態度	・数や図形にすすんで関わろうとしている。 ・算数で学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	・観察

家庭へのおお願い

- 毎日の計算ドリルなどの宿題を確認してください。間違いをその場で把握し直すことにより理解につながります。また、分からない問題を教科書など活用しながら取り組むことにより定着につながります。繰り返し学習することによって既習事項の定着につながります。
- 学習内容を活用する機会を作ってください。身の回りには算数で学習した内容を活かすことができる機会がたくさんあります。それらを示し、既習事項を活用しながら考える楽しさや喜びを感じさせ、習慣を付けていくと定着につながります。
- 定規など算数科で活用する学習用具の適切な使い方をよく理解するように練習してください。繰り返し使うことにより、それぞれの用具の自分に合った使い方を見付けることができます。

第2学年 生活科学習計画（シラバス）

第2学年 生活科の目標】

- 具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育成することを目指す。
- （１）活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付ける。
- （２）身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにしている。
- （３）身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしたりしようとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① わくわく、2年生 ② めざせ野さい作り名人 ③ まちが大すき たんけんたい ④ めざせ 生きものはかせ	① 1年生を迎える活動を通して、自分の成長を捉え、自分への自信をもつ。 春になった地域の変化に気付き、季節や季節による生活の変化を見付ける。 ② 野菜を育てる活動を通して、それらの育つ場所、成長の変化に関心をもち、生命を持つことや成長に気付き、植物を大切にする。 地域と関わる活動や公共物、公共施設などを利用する活動を通して、地域やそこで働く人々について考えたり、働きを捉えたりする。 ③ 自分たちの生活が様々な人や場所と関わっていること身の回りにはみんなで使うものがあること、それらを支えていることが分かり、適切に接したり、利用したりする。 ④ 生き物を育てる活動を通して、生き物たちが住んでいた場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかける。 生き物の適切な世話の仕方やそれらが生命をもっていること、成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にする。
2学期	⑤ えがおのひみつ たんけんたい ⑥ 作ってためして ⑦ あしたへつなぐ 自分たんけん	⑤ 地域の多様な場所や人々に関わる活動、身近な人と伝え合う活動を通して、地域の人々と自分たちの生活との関わりや公共物のよさや働きを捉えたり、相手のことを想像して伝えたいことや伝え方を選んだりする。 地域に親しみをもち、すすんで触れ合い交流することや、適切に接したり、安全に生活したりする。 ⑥ 動くおもちゃを作って遊ぶ活動を通して、おもちゃの動きや遊び方を工夫する。 身近なものを使ってできる遊びの面白さ、素材の持つ特徴、遊びのルールを守って遊ぶことの楽しさ、道具の準備や片付け、掃除、整理整頓をすると楽しく遊べることに気付き、楽しみながら遊びを創り出す。 ⑦ 自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分の成長を支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったことや自分でできるようになって役割が増えたことなどに気付く。 これまでの自分の生活や成長を支えてくれた人への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活する。

身に付けさせたい力

評価の観点	生活科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・学校での様々な人や施設との関わりが分かり、楽しく安心して生活できる。 ・家庭生活では、自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気を付けて生活できる。 ・地域に関わる活動では、自分たちの生活は様々な人や場所と関わり、それらに親しみや愛着をもち、安全に生活できる。	・観察 ・発言 ・ノート
思考・判断・表現	・公共物や公共施設を利用する活動を通して、よさを感じ取り、大切にし、安全に正しく利用しようとしている。 ・身近な自然を利用したり、物を使ったりするなどの遊ぶ活動を通して、面白さや自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしている。 ・動物を飼ったり、植物を育てたりする活動を通して、生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にしようとしている。	・観察 ・発言 ・ノート
主体的に学習に取り組む態度	・自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分や支えてくれた人々について考えることができ、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かるとともに、支えてくれた人々への感謝の気持ちをもち、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。	・観察 ・発言 ・計画書

家庭へのおお願い

- 地域の関わりのある人々、自然、公共施設などに関心がもてるよう、触れ合える機会があるときには学習とつなげるような働きかけをしてください。
- 身近な自然、環境に関心がもてるよう、触れ合える機会があるときには学習とつなげるような働きかけをしてください。
- 生活の学習を家庭生活でも生かせるように、児童の成長を折に触れて伝えてください。

第2学年 音楽科学習計画（シラバス）

【第2学年 音楽科の目標】

- (1) 曲想と音楽の構造などとの関わりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付ける。
- (2) 音楽表現を考えて表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを 見いだしながら音楽を味わって聴くことができる。
- (3) 楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しむとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① 音楽で みんなとつながろう ② はくの まとまりをかんじとうろう ③ ドレミであそぼう ④ せいかつの中にある音を楽しもう ⑤ かしのかんじをいかしてうたおう ⑥ リズムをかさねて楽しもう ⑦ くりかえしを見つけよう	① 友達と一緒に明るい声で歌ったり、いろいろな国の踊りの音楽を楽しんだりする。 ② 2拍子、3拍子を感じながら、歌ったり音楽を聴いたりする。 ③ 音の高さに気を付けながら、歌ったり、鍵盤ハーモニカで演奏したりする。 ④ 身の回りの音を声で表して、音楽をつくる。 ⑤ 歌詞の表す様子や場面の様子を想像して演奏する。 ⑥ 2拍子、3拍子を感じながら、リズム打ちをする。拍にのって楽しく合奏する。 ⑦ 旋律のくり返しに気を付けて歌ったり、聴いたりする。 繰り返しを使って音楽をつくる。
2学期	⑧ いろいろながっきの音をさがそう ⑨ ようすをおもいうかべよう ⑩ 日本のうたでつながろう ⑪ みんなであわせて楽しもう	⑧ いろいろな楽器の音の中から好きな音を探し、重ねて演奏する。 ⑨ 歌詞の様子を思い浮かべながら、歌ったり、吹いたり、聴いたりする。 ⑩ 日本のうたを聴いたり、歌ったりする。 日本のうたに合う伴奏をつくって楽しむ。 ⑪ みんなで気持ちを合わせて歌ったり、合奏の楽しさを感じながら聴いたりする。

身に付けさせたい力

評価の観点	音楽科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・歌詞の表す様子、旋律、リズムや拍などと曲想との関わりに気付き、自分の歌声や発音に気を付け、声を合わせて歌うことができる。 ・楽器の音色に気を付けて演奏することができる。 ・呼びかけとこたえ、反復などを用いてリズムをつくることができる。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート ・演奏聴取
思考・判断・表現	・歌い方について思いをもったり、演奏の楽しさを見いだして聴いたりしている。 ・体を動かしながら音楽を聴いたり、旋律の特徴を生かした表現の仕方や音のつなげ方に思いをもったりしている。 ・楽器の音色やリズムの違いが生み出すよさや面白さを見いだして聴いたり、楽器やリズムの組み合わせ方を考えたりしている。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	・声の出し方を考えて友達と一緒に歌ったり、体を動かしながら音楽を聴いたりする学習を楽しみ、様々な音楽に親しんでいる。 ・身の回りの音を探し、友達と協力して音楽を作る学習を楽しみ、生活の中にある音への興味・関心を広げている。 ・互いに聴き合いながら声や音を合わせて表現する学習に、友達と協力して楽しんで取り組んでいる。	・発言 ・行動観察 ・ワークシート

家庭へのお願い

- 鍵盤ハーモニカを吹いた際の水滴を拭くために、タオルを袋に入れて持参させてください。使用した後は、適宜持ち帰りますので、洗濯して清潔な物を持たせてください。
- 状況に応じて、学習した鍵盤ハーモニカの曲をご家庭で練習してください。その際、お子さんの演奏を聴いていただけると励みになると思いますので、ご協力をお願いします。
- 日常の生活において、流れている音楽にお子さんと一緒に関心を広げてみてください。

第2学年 図画工作科学学習計画（シラバス）

【第2学年 図画工作科の目標】

- （１）対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して気付くとともに、手や体全体の感覚などを働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができる。
- （２）造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて考え、楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。
- （３）楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。

1 年間の学習内容

学期	学習する題材名	主な学習内容
1 学期	① ローラーあそび ② ぼかしあそびで ③ はたらく消防の写生会 ④ ひかりのプレゼント ⑤ まほうのえのぐ ⑥ にぎにぎねんど ⑦ わっかでへんしん ⑧ とろとろえのぐでかく ⑨ いろみずじっけん	① ローラーを転がす感覚を楽しんだり、絵の具の混色による色の変化を楽しんだりしながら、消防車を描くための紙を工夫してつくる。 ② クレヨンやパスなどを用いたぼかし遊びを楽しみ、できた模様からイメージをふくらませて、思い付いたことをかき足し、絵に表す。 ③ クレヨンやパスなどを使いながら消防車をよく見て楽しく絵に表す。 ④ 光を通す材料で形や色が映し出される面白さを感じ取り、色々な形や色などを捉えながら工夫して表す。 ⑤ モダンテクニックでできた模様から楽しく形見付けをしたり、思い付いたりしたことを描き足したりする。 ⑥ 粘土を握ってできた形から表したいものを見付け、手や指の感覚を働かせて、様々な形や触った感じなどを捉えながら表し方を工夫して立体に表す。 ⑦ 輪に飾り付けながらどのように変身したいのかを考え、様々な形や色などを捉えながら、表し方を工夫して表し、友人とお互いに見せ合って楽しむ。 ⑧ 液体粘土の感触を味わいながら、指や手で試しながら表したいことを見付け、工夫して表す。 ⑨ いろいろな色の水をつくったり、できた色水を並べたりするなど試しながら、活動を工夫してつくることを楽しむ。
2 学期	⑩ つくってあそぼう ⑪ まどからこんにちは ⑫ えのぐのれんしゅう ⑬ ふしぎなたまご ⑭ ひみつのグアナコ ⑮ はさみのアート ⑯ だんボールに入ってみると！？ ⑰ たのしくうつして	⑩ 紙皿を飾って、遊べるおもちゃを楽しくつくる。 ⑪ カッターナイフで切り込みを入れてできた窓の形や仕組みから表したいことを見付け、様々な形や色などを捉えながら工夫して表す。 ⑫ 水彩絵の具を適切に扱うとともに、共用絵の具等についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。 ⑬ ふしぎな卵から生まれるものやお話を想像し、様々な形や色などを捉えながら、表しかたを工夫して絵にする。 ⑭ 粘土の感触を味わいながら、「グアナコ」という言葉からイメージを広げ、自分の考えた生き物や動物を想像し、粘土の塊をのばしたり、丸めたり、つまみ出したり、組み合わせたりして、つくりながら工夫する。 ⑮ 白い紙をはさみで切ることを楽しみながら表したいことを見付け、置き方や並べ方を工夫して表す。 ⑯ ダンボールの箱に入ってみることから、思い付いたことを試し、様々な形や触った感じを捉えながら、材料や友人と関わり活動を工夫する。 ⑰ クリアケースを使って版をつくり、刷ったり、描き加えたりすることで、様々な形や色などを捉えながら、工夫して表す。

身に付けさせたい力

評価の観点	図画工作科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・自分の行為を通して、形や色などに気付いている。 ・身近で扱いやすい材料や用具に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表現している。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
思考・判断・表現	・形や色などを基に、自分のイメージをもちながら、感じたこと、想像したことから、表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価
主体的に学習に取り組む態度	・楽しく表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとしている。	・観察 ・発言 ・ワークシートや作品評価

家庭へのおお願い

○必要な材料を準備するときには、ぜひお子さんと一緒に楽しみながら探してください。子供にとって大人と一緒に材料探しは楽しいだけでなく勉強になります。また、自分で探すことで、この材料でこんな物を作りたいと発想を広げることができます。

○持ち帰った作品については、人と比べることはせず、どのような想いで作ったのかを聞いてみてください。また、自分で作った作品を丁寧に扱ってもらえないのは悲しいものですので、作品は大切に扱ってください。

○道具を最後まで大切に使うことや安全に気を付けて使うことを、ご家庭でも伝えてください。

第2学年 体育科学習計画（シラバス）

【第2学年 体育科の目標】

- （１）各種の運動遊びの楽しさに触れ、運動遊びの課題、行い方のきまり、用具の使い方、場の安全確保等、各種の運動遊びの行い方を知るとともに、基本的な動きを身に付ける。
- （２）各種の運動遊びにおいて、運動遊びをする場や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫したり、選択したりするとともに、自己の工夫したことを他者に伝えようとしている。
- （３）各種の運動遊びにすすんで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、公正な態度で勝敗を競ったり、健康・安全に留意したりし、意欲的に運動をしようとしている。

1 年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1 学期	① 体ほぐしの運動遊び ② 固定施設を使った運動遊び ③ 走の運動遊び ④ 跳の運動遊び ⑤ マット遊び ⑥ 水遊び ⑦ 表現リズム遊び ⑧ ゲーム（ボール遊び） ⑨ ゲーム（鬼遊び） ⑩ 鉄棒を使った運動遊び	① 手軽な運動遊びを行い、心と体の変化に気付いたり、みんなに関わったりする。 ② 登り下りや懸垂移行渡り歩きや跳び下りをする。 ③ いろいろな方向に走ったり、低い障害物を乗り越えたりする。 ④ 前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりする。 ⑤ いろいろな方向への転がり、手で支えての体の支持や回転をする。 ⑥ 水の中を移動したり、息を止めたり吐いたりしながら、水にもぐったり浮いたりする。 ⑦ 軽快なリズムに乗って踊る。 ⑧ 簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをする。 ⑨ 一定の区域で、逃げる、追いかける。陣地を取り合うなどをする。 ⑩ 支持しての揺れや上がり下り、ぶら下がりや易しい回転をする。
2 学期	⑪ 多様な動きをつくる運動遊び ⑫ 表現リズム遊び ⑬ 跳び箱遊び ⑭ 鬼遊び ⑮ 跳の運動遊び ⑯ ゲーム（ボール遊び）	⑪ 体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをする。 ⑫ 身近な題材の特徴を捉え、全身で踊る。 ⑬ 跳び乗りや跳び下り、手を着いてのまたぎ乗りやまたぎ下りをする。 ⑭ 一定の区域で、逃げる、追いかける。陣地を取り合うなどをする。 ⑮ 前方や上方に跳んだり、連続して跳んだりする。 ⑯ 簡単なボール操作と攻めや守りの動きによって、易しいゲームをする。

身に付けさせたい力

評価の観点	体育科で期待される具体的な姿	評価の方法
知識・技能	・運動の行い方を知っており、基本的な動きを身に付けることができる。	・学習カード
思考・判断・表現	・運動遊びの場や練習の仕方などを自らの力に応じて工夫したり、選択したりしている。 ・自分が考えたことや工夫したことを仲間や全体へ伝えている。	・学習カード ・仲間への声かけ ・観察
主体的に学習に取り組む態度	・きまりを守り、誰とでも仲良くすすんで運動遊びをしている。 ・友達の考えや動きを認めている。 ・場や安全に気を付けて運動遊びをしている。	・観察 ・発言

家庭へのお願い

○いろいろな運動や遊びの楽しさを、家庭でもぜひ体験する機会をもってください。

○運動や遊びは苦手になると意欲が低下するので、習熟度ではなく、体を動かすことによる心の楽しさを、一緒に味わいながら伝えてください。

○運動遊びは、きまりを守り、誰とでも仲良くすることが大切になるので、勝負や習熟度などにこだわらない態度が大事であることを日頃から伝えてください。

○体の柔軟性を高めるために、お風呂上がりにストレッチをしてください。

第2学年 道徳科学習計画（シラバス）

【第2学年 道徳科の目標】
よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

1年間の学習内容

学期	学習する単元名	主な学習内容
1学期	① じぶんでおっケー ② くまくんのたからもの ③ ひかり小学校のじまんはね ④ 金のおの ⑤ じぶんがしんごうきに ⑥ いそいでいても ⑦ かくしたボール ⑧ おれたものさし ⑨ 森のともだち ⑩ げんきにそだて、ミニトマト ⑪ あさもひるもよるもあそびたい ⑫ さかあがりできたよ ⑬ たんじょう日 ⑭ わずれられないえがお ⑮ いろいろな生きもの ⑯ ともだちやもんな、ぼくら ⑰ せかいのくにの人たちと ⑱ なかいながいづがくろ	① 節度、節制について考える。 ② 親切、思いやりについて考える。 ③ よりよい学校生活、集団生活の充実について考える。 ④ 正直、誠実について考える。 ⑤ 感謝について考える。 ⑥ 礼儀について考える。 ⑦ 規則の尊重について考える。 ⑧ 善悪の判断、自律、自由と責任について考える。 ⑨ 友情、信頼について考える。 ⑩ 自然愛護について考える。 ⑪ 節度、節制について考える。 ⑫ 希望と勇気、努力と強い意志について考える。 ⑬ 生命の尊さについて考える。 ⑭ 善悪の判断、自律、自由と責任について考える。 ⑮ 自然愛護について考える。 ⑯ 友情、信頼について考える。 ⑰ 国際理解、国際親善について考える。 ⑱ 伝統と文化の尊重、国と郷土を愛する態度について考える。
2学期	⑲ 「かむかむメニュー」 ⑳ だっておにいちゃんだもん ㉑ きいろいベンチ ㉒ ありがとう、りょうたさん ㉓ 学びゅうえんのさつまいも ㉔ 「三くみ大すき」 ㉕ 「あいさつ」っていいな ㉖ 大すきなフルーツポンチ ㉗ ぼく ㉘ さるへいと立てふだ ㉙ 七つのほし ㉚ ぐみの木と小とり ㉛ ぼくは「のび太」でした ㉜ もったいないのズボン ㉝ ゆきひょうのライナ ㉞ いま、ぼくにできること ㉟ まる子のかぞくへのしつもん	⑲ 節度、節制について考える。 ⑳ 家族愛、家族生活の充実について考える。 ㉑ 規則の尊重について考える。 ㉒ 個性の伸長について考える。 ㉓ 親切、思いやりについて考える。 ㉔ よりよい学校生活、集団生活の充実について考える。 ㉕ 礼儀について考える。 ㉖ 公正、公平、社会正義について考える。 ㉗ 生命の尊さについて考える。 ㉘ 正直、誠実について考える。 ㉙ 感動、畏敬の念について考える。 ㉚ 親切、思いやりについて考える。 ㉛ 希望と勇気、努力と強い意志について考える。 ㉜ 節度、節制について考える。 ㉝ 生命の尊さについて考える。 ㉞ 勤労、公共の精神について考える。 ㉟ 家族愛、家族生活の充実について考える。

身に付けさせたい力

道徳科を要とする道徳教育を通して期待される具体的な姿
・わがままをしないで、規則正しい生活をする事ができる。 ・友達と仲よくし、助け合うことができる。 ・よいことはすすんで行うようにしている。 ・気持ちのよい挨拶をしようとしている。 ・生きることを喜び、生命を大切にしようとしている。 ・自らを振り返って成長を実感しようとしている。 ・これからの課題や目標を見付けようとしている。

家庭へのおお願い

○ 主体的に考え、自分の生き方を追求することができるように、日頃からいろいろな視点に気付かせるように広い視野でお子さんと話をしてください。
○ 道徳的判断力、心情、実践意欲と態度を養うため、したことを評価するのではなく、これからどうしていきたいか、どうしたらよりよい生活が送れるかを、折に触れお子さんと一緒に考えてください。
○ お子さんの成長に気付かせるために、様々な場面で見られるお子さんのよりよい行動を見付けて、それを伝え、意欲の向上につなげてください。